

「ビジョン達成」(成果創出)
を強く意識して各種事業を展開

医療介護ものづくりP J

技術相談

共同研究

セミナー・交流会

研究助成金

ピッチイベント

フェーズ4

新たな価値創出
への取組支援

成長促進

ビジョン達成

稼ぐチカラのある
中小企業と新産業の創出

収穫

同じ「想い」や「志」を持つ様々な
主体が交わり、新たな“チャレンジ”が
自発することで、継続的に新たな価値
が創出される状態



ネットワーキング&情報収集

フェーズ3

新たなチャレンジ
への取組支援

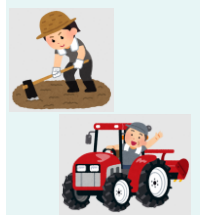
種まき



フェーズ2

気付き・意欲喚起

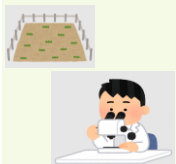
土づくり



フェーズ1

現状整理

土壌分析



ふくろい産業
イノベーション
センター

ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.45

発行日：令和7年3月21日（金）

発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

令和7年度の事業計画・予算(案)が「承認」 ～第12回「ふくろい産業イノベーション推進協議会 総会」で協議～

3月12日、本センターの設置主体である「ふくろい産業イノベーション推進協議会」第12回総会が開催され、本センターの令和6年度取組実績の報告を行うとともに、令和7年度事業計画及び予算(案)について協議いただきました。各委員からは、本協議会・センターの事業実績や取組の方向性等の様々な点で、多くの意見が出されたほか、協議事項(令和7年度事業計画・予算)について、全会一致で「承認」を得ることができました。

次年度は、袋井市内に集う場「Birds(バーズ)」を新設し、引き続き以下の3点を軸に各種事業を展開し、新たな出会いやビジネスマッチング促進によるビジネス機会の積極的創出に取り組んでまいります。

【取組の考え方(3つの柱)】

良質な
ネットワークの
拡大&情報収集

積極的な
チャレンジに向けた
機運醸成

ビジネスチャンスに
つながる可能性の模索

協議会委員一覧(令和7年3月12日現在) ※敬称略・順不同

協議会役職	所属	所属役職	氏名
会長・委員	袋井市	市長	大場規之
副会長・委員	静岡理科大学	学長	木村雅和
委員	袋井商工会議所	会頭	豊田浩子
委員	浅羽町商工会	会長	森下剛好
委員	株式会社静岡銀行	袋井支店長	鈴木正樹
監事・委員	浜松磐田信用金庫	袋井中央支店長	三好倫太郎
委員	島田掛川信用金庫	地方創生部長	鈴木康司
委員	ふくろい産業イノベーションセンター	センター長	小笠原敦

各委員意見要旨

●プロダクツの生み出しには最終消費者の声が重要

プロダクツを生み出していくときには、消費者や顧客などの最終消費者の声が必要になると強く感じる。構想段階でステイクホルダーとなる最終消費者が入ることは、プロダクツが生まれる過程において有益と感じる。

単なるテストマーケティングとは違うもので、開発段階から中に参加してもらうことで、プロダクツが完成するまでの知財・技術などの障壁というのを知ってもらい、単に値段ではなく、そのプロダクツの開発過程を知ることによって感じられる価値を知ってもらうことが重要。

●集う場の有効活用について

近年の若者の起業への挑戦や企業のスタートアップへの期待などから、集う場の必要性を強く感じている。

金融機関同士の横の連携を強め、有効な形で使っていきたい。

ビジネスにチャレンジする多様な人が集まるイノベーション拠点となるためには、利用者を増加させる仕掛けが重要。

●学生の集う場の活用による成長支援

大学内でのスタートアップの熱量が上がってきていると感じる。

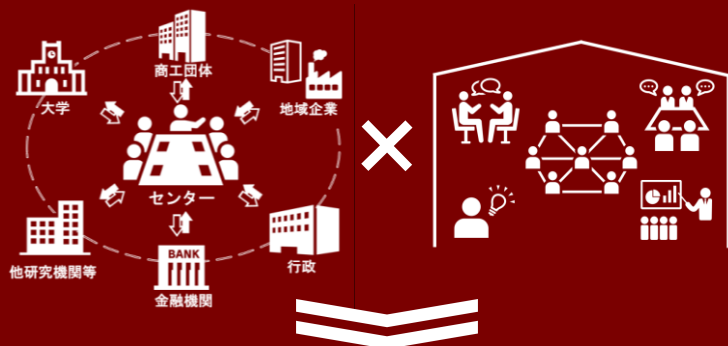
これまでIT関係のものが多かったが、テック系をはじめ、その他の分野についても今後成長が期待される。

社会実装や企業との共同研究が増加していることから、集う場の活用により成長をしてほしい。

集う場の創出に伴い、イノベーションセンターの強みを更に伸ばすとともに、技術課題を含めた地域の課題を、地域全体で解決することで地域の稼ぐ力の向上を図る

【イノベーションセンター】

【集う場】



オープンイノベーションの推進

お問い合わせ・相談窓口 ふくろい産業イノベーションセンター

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2(静岡理科大学 やらまいか創造工学センター3階)
TEL:0538-45-0136(直通) / FAX:0538-45-0110 / E-mail:shakai@sist.ac.jp